

へびとめとやい-ちめ



東京児童劇場

文 松川 忠 写真 三門義夫

「やあ みなさん こんにちは」
しろひげじいさんが おおきなこえで ごあいさつ
をしています。

みなさんも おおきなこえで ごあいさつをしてく
ださい。

あさだったら「おはようございます」

おひるだったら「こんにちは」

よるだったら「こんばんは」ですね。

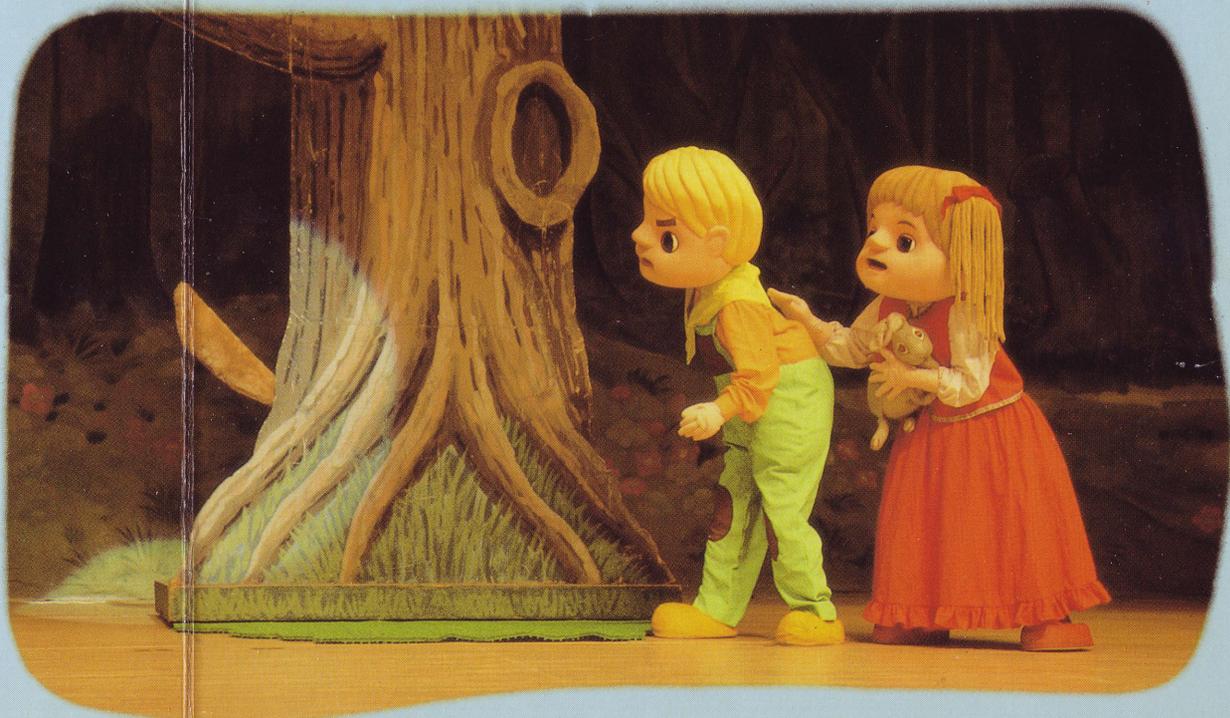
「じょうずにいえたかな。では ヘンゼルとグレー
テルのおはなしをしようかな」



ヘンゼルとグレーテルは
うさぎをもりへかえして
あげることにしました。
うさぎちゃんのなかまを
さがしているうちに
ひがくれて よるになっ
てしまいました。“ほうー ほうー”ときみのわるい
こえがきこえます。

「おにいちゃん こわい あのこえなあに」

「ふくろうだよ。さあ もっともりのおくへいってみ
よう」



よるの もりのなかで ヘンゼルとグレーテルは
みちにまよってしまいました。きつねがとびだしてき
たり たぬきが おどりでたり びっくりすることはば
かりですが おもしろいこともありました。
ふたりは やつとであった うさぎちゃんのなかまた
ちに しろいうさぎをかえしてあげました。
ところが このもりには わるいまほうつかいのまじ
よがすんでいました。



「ふ、ふ、ふ わたしは かわいい
こどもたちがだいすきな のさ ぶ、
ふ、ふ」 まじよは ぶしぎなまほ
うで ふたりをつかまえようとし
ます。「これは わたしがさかせ
た まほうのはな。このはなにさ
わったものは みんな たおれて
しまうのさ ひ、ひ、ひ、ひ、ひ」と
ぶきみにわらいました。





「まあ きれいな おはな。ねえ おにいちゃん この
はな とってかえろうよ」

「うん とってもきれいだね。でも とるのはよそうよ
ここにさいていれば もりのどうぶつたちもみることが
できるもの」

まじよは びっくり がっかりしました。

「う、う、うん。あのこたちは わたしのまほうに ひっ
かからなかったよ。ようし こんどは ふたりが もり
から でられなくしてやる!!」

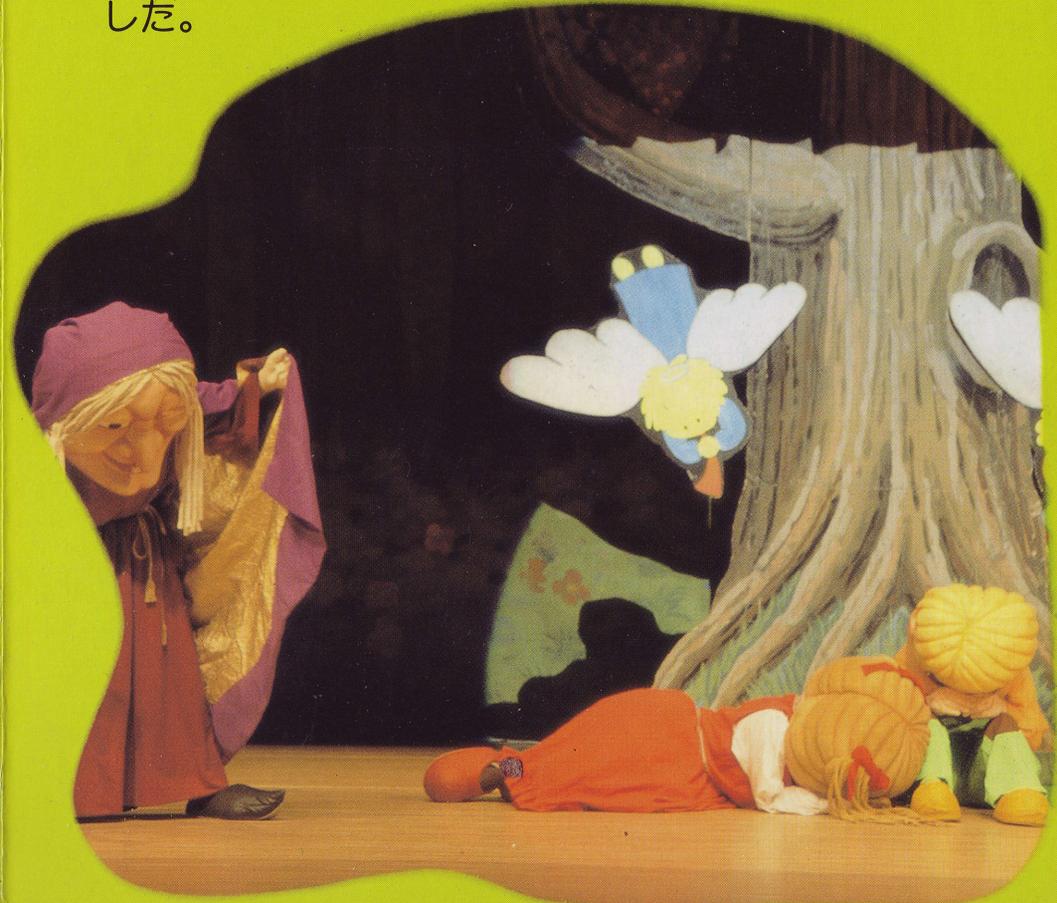
「ぐるぐる ぐるぐる」と まほうのつえをおおきくま
わしました。

ふたりは くたくたにつかれて もりのおおきなきの
したで ねむってしまいました。

「うふふふふ よくねむっておる わたしは こどもが
だいすきなのださ」

まじよは そろそろと ちかずいてゆきます。 ……と
そのとき ふしぎなひかりがはしりました。

ふしぎな しらべとともに かわいい てんしたちが
おりてきて ふたりを まじよのまほうから まもりま
した。





どこかで たのしいおんがくがきこ
えます おかしのマーチです。
ちいさなおかしたちは ふたりに
おいでおいでをしながら はしって
ゆきます。ふたりは おおよろこび
で ついてゆきました。
すると もりの そのまたおくに
おいしそうな おかしのうちが た

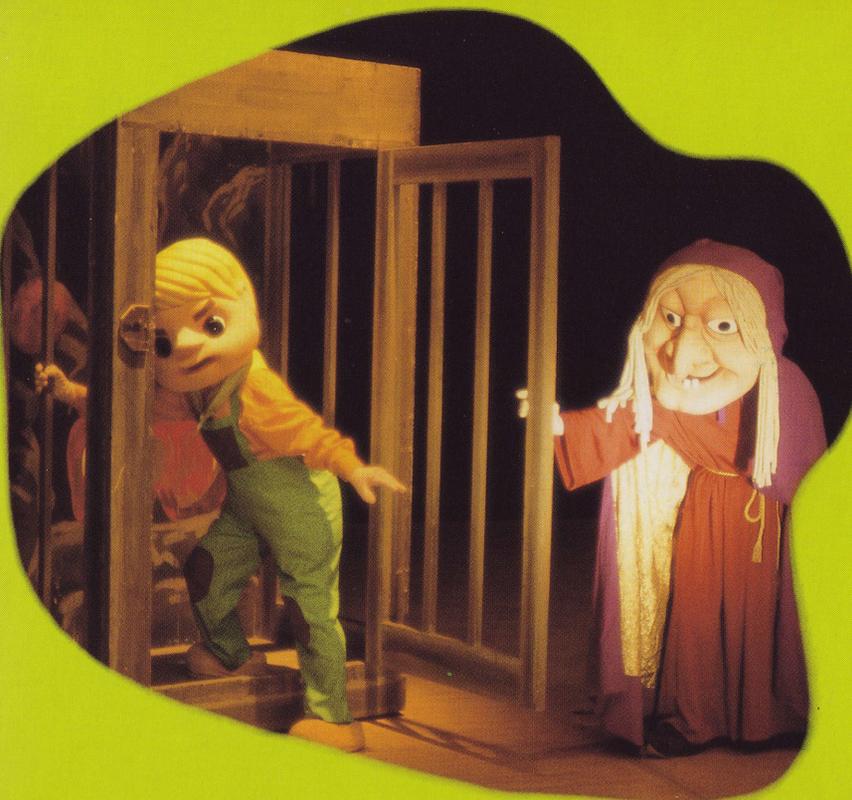
っていました。おなかがすいていた
ふたりは おちゆうになって たべ
ました。

「おや おや おや なんのおと」
「かぜのおと」「ああ よかった」
おかしのいえのなかから おばあさ
んが でてきました。

「さ さ なかへおはいり なかに
はもつとおいしいものがあるんだよ」
けれど そのおばあさんには わる
い たくらみがありました。

「ヘンゼル あのりんごを もって
きてくれないかい」「はい」ヘンゼル
は へやのすみの りんごをとりに





グレーテルも
まほうにかけられて
おもうように
うごけません。
「わるいまじよめ
おまえなんか
たべられて
たまるもんか」
ヘンゼルは



あきらめませんでした。
「どのくらいふとつたか み
てやろう ヘンゼル てを
おだし！」
グレーテルは こえだを
ヘンゼルに わたしました。
「なんだね これは まるで
こえだのようにやせている」
おこつた まじよは グレー
テルに みずをはこばせまし
た。

ゆきました。 そのときです。
「えいっ」 まじよは ありのとな
しめてしまいました。
「だまされたねヘンゼル ふ、ふ、ふ」
「わたしは こどもをたべるのが
だいすきなのだ。さあ チョコレ
ートも ケーキも どんどん おたべ
どんどん ふくらんで ふとつてか
ら たべてやる ひ、ひ、ひ、ひ、ひ」



「ええい もう こうなったら やせていてもかまわない、
こどもを おゆのなかにいれて こんがりゆでて たべ
てやる」「さ、さ かまどの ひかげんをみるんだよ」

「ど どうやって？ わたし かまどの ひなどみたことが
ありません」

「え～い やくたたずめが こうやって あけて こうや
って のぞくんじゃよ」

「いまだ！ グレーテル」と ヘンゼルがさげびました。

グレーテルは うしろから まじよを おもいきり か
まどのなかへ おしこみました なかから すさまじい
うなりごえが きこえました。

グレーテルは おりのかぎを あけました。
ふたりは いえのそとへ とびだしました。

「グレーテル」「ヘンゼルにいちゃん」

「ぼくたち たすかったんだ」



しろひげじいさんが できました。

「うさぎを かえしてやった ふたりのやさしいところ。
よるのもりを おそれなかった ゆうき。どくのはなに
さそわれなかったふたり、みちにまよったら そのばで
あさをまったふたり、まじよを おそれなかったヘンゼル
こえだをさしだした グレーテルのちえ、

そして しくしくないていた あのグレーテルが さいご
に まじよを かまどのなかへおしこんだ ちから、ふた
りには ちえと ゆうきがありましたね、だから たすか
ったんですね、さ、これでこのおはなしはおしまい。
それじゃ また あおうね!!
さようなら!!」



森でだれかが

作詞…小山 弓

作曲…小森 昭宏



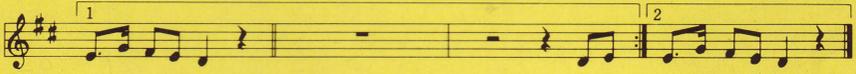
もり でだれかが よんでいる もり でだれかが よんでいる あれは



ヘンゼルと グレーテル ほら かけてくる ほら かけてくる
うたってる ほら うたってる



なかよしく しょうだい てをつないでる ヘンゼルと
ゆーめーいっ ばい



1 グレーテル 2 もり グレーテル



★スタッフ

演出：松川 忠
振付：山形 真記子
音楽：小森 昭宏
照明：馬場 浩伸
舞監：杉崎 秀樹
制作：三門 義夫
企画：松川 純也
大道具：伊藤 舞台(有)

★声の出演

堀 絢子
川 又寿美子
鳥居 美江
佐藤 泉
~~~~~  
嶋田 浩子  
猪爪 奈美恵  
三川 勝弘  
鬼海 由加里  
森川 昭則  
千 葉 由美子 他

## 記録

とき 年 月 日

ところ 会館

誰と

お子さまの  
の名前

# 子どもの劇場

(株)東京児童劇場

東京都豊島区目白2-6-4  
TEL 03-3980-8161